

新型コロナ さらなる感染防止対策と経済・市民生活への支援強化を

9月議会に提案された補正予算は、新型コロナウイルス感染拡大防止と、その影響を受けた地域経済の再生や市民生活の支援などコロナ関係の予算が54億8千万円と大部分であったので賛成しました。積極面を評価、改善すべき点を指摘し、なすまどか議員が討論しました。

育成クラブの感染予防対策拡充、全クラブに空気清浄機他

党市議団が求めてきた児童育成クラブの感染予防対策拡充が実現し、すべてのクラブに空気清浄機が設置されるとともに、その他の感染予防消耗品が追加支給されます。

PCR等検査は、面的実施も含め拡充を

中心街の飲食店へのPCR検査が実施されることになり、検査も拡充されてきました。しかし、「いつでも・どこでも・何度でも」の立場で、医療機関・介護施設・保育幼稚園・学校などの職員等、面での定期的なPCR検査も実施すべきです。

落ち込んだ地域経済へは継続的な追加支援を

熊本地震の際の市独自の持続化給付金、市民への家賃支援の継続、学費や奨学金返済が困難な世帯への支援強化、国民健康保険料減免の周知徹底・減免対象外の事業主への傷病手当金の支給、事業者向けの緊急家賃支援事業の継続・拡大など、さまざまな面での支援対策に取り組み、地域経済と市民生活への継続的な対策が行われるよう求めました。

【9月議会の主な議案の賛否】 ○：賛成 ×：反対

(議案の内容)	共産	熊本自民	自民	市連	公明	白河部	緒方	北川
2020年一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	×	○
2019年度一般ならびに特別会計決算	×	○	○	○	○	○	○	○
国の責任で少人数学級の拡充を求める意見書	○	×	×	○	×	×	○	×
PCR検査等の拡充を求める意見書	○	×	×	○	×	×	○	×
核兵器禁止条約の批准を求める意見書	○	×	×	○	×	×	○	×

＊補正予算に賛成討論、決算に反対討論、日本共産党市議団が提案した「少人数学級」の意見書案に賛成討論を行いました。
(討論全文は、日本共産党熊本市議団HPをご覧ください)



弁護士による「無料法律相談」のご案内

日本共産党が毎月定例で行っている無料の法律相談です。どなたでもご利用できます。また、生活相談も合わせて行っています。
「事前予約制」です。ご希望の日時に電話予約をお願いします。

- 10月20日(火) 午後6時～8時
北区生活相談所(武蔵ヶ丘1-10-1) Tel 338-2001
- 10月21日(水) 午後2時～4時
中央区生活相談所(大江5-15-20) Tel 375-2200
- 10月26日(月) 午後1時30分～4時
山本のぶひろ渡鹿生活相談所(渡鹿5-19-7) Tel 362-5181
- 10月30日(金) 午後3時～5時
東区生活相談所(広木町7-23-2) Tel 328-2656
- 11月10日(火) 午後5時30分～7時30分
さくら法律事務所(京町本町1-22) Tel 090-8667-3148
- 11月12日(木) 午後1時～4時
菜の花法律事務所(南区江越1-17-12) Tel 322-7731

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか

NO. 1206
2020年10月11日発行
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP: 共産党 熊本市議団



検索



「住民の福祉の増進」が自治体の基本 大型開発・ハコモノ優先、市民生活切り捨てる冷たい市政

9 月議会最終日、報告された「2019 年度一般会計ならびに特別会計決算」について、上野みえこ議員が問題点を指摘し、反対討論を行いました。

目に余る大型投資・ハコモノ整備の数々

「桜町再開発」への莫大な投資で、多額の借金払い

完成した桜町再開発は総事業費 777 億円、熊本市は保留床取得金・補助金等で 441 億円を投入、総事業費の 6 割を市が負担する異例の支援でした。

1 地権者の異例な再開発に、会社施行で脱法的に 126 億円の補助金を支出、莫大な投資による多額の借金払いは、今後 20 年以上、おおきな負担となります。

サクラマチと一体の「花畑広場」整備は、愚かなムダづかい

総事業費 40 億円の花畑広場整備は、桜町再開発の一部としてすすめていけば、産文会館建物と花畑広場・シンボルプロムナードの土地が従前資産として

活用され、ほとんど持出しせず広場・公共空間が整備できたはず。花畑広場整備は、産業文化会館解体の強行に始まった愚かなムダづかいです。

地元発注の必要な公共事業ができていない

市営住宅改修・修繕の遅れ

耐用年数を越えたものが 33 棟・115 戸もあり、空き家も 1,157 戸が未修繕です。計画修繕未完了は、畳 665 戸、風呂釜 883 戸、給湯器 1,071 戸です。

公園遊具の修繕も未実施

公園維持管理費が年々削られ、遊具の 8 割 2,074 個が耐用年数を越えていますが、昨年度 53 件しか修繕されず、危険な状態が放置されています。

他都市と比べ、おろそかにされている医療・福祉 政令市で一番高い国保料は引き下げを

国保料は最高限度額がさらに引上げられ、高い保険料と厳しい差押えに加入者は苦しんでいます。

前市長時代と比べ 3 分の 1 以下に減らされた一般会計繰入を増額し、政令市一高い保険料の負担を軽減すべきです。

政令市で 2 番目に高い介護保険料引き下げと、「特養」建設推進

介護保険料滞納者は過去最高の 8,775 人、給付制限を受けた人は 229 人。政令市で 2 番目に

高い保険料は軽減すべきです。特養待機者は 1,300 人、施設設置で速やかに解消すべき。

健康増進のため、ガン検診・特定検診は無料化を

ガン検診無料化は、市長公約でありながら、肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんともに、受診率は全国平均・政

令市平均より低くなっています。特定検診と合わせ、検診の無料化を行うべきです。

子ども医療費助成、自己負担廃止を

子ども医療費助成制度は、熊本都市圏 13 市町村のうち約 7 割・9 自治体が完全無料です。玉東町・山都町では 18 歳までの完全無料化を実施しています。

本市でも直ちに自己負担をなくし、完全無料化の制度を実施すべきです。

敬老祝品制度は拡充を

次々削られてきた敬老祝品事業は、100 歳と最高齢者だけになり、5 年前 1 万人だった対象者は、現在 263 人です。金額も対象者も最低レベルの制度は改善すべきです。